

北浦和図書館

北浦和駅から徒歩5分、中山道に面した静かで落ち着いた雰囲気図書館です。もとは映画館、北浦和劇場跡地に昭和49年1月に開館しました。レンガ造りの建物の中は、1階に小説・実用書・雑誌・CD・ビデオ、2階に地域資料や参考資料など、3階が児童室、地下には講座室も備えた4階層に分かれています。

特色は、伝統産業うなぎに関する資料を集めた「うなぎコーナー」と浦和生まれのサツマイモ紅赤にちなんだ「さつまいもコーナー」の常設です。「うなぎまつり」に参加したり「紅赤ふれあいまつり」を開催したり、関連行事にも積極的に取り組んでいます。



うなぎまつりに参加。うなこちゃんとしょ丸。



また、児童向け行事も定例の「おはなし会」「あかちゃんおはなし会」「えほんのじかん」のほか、季節ごとに「おたのしみ会」を開催するなど、地域密着型の図書館として親しまれています。

さらに、学校図書館支援センターの機能を持ち、年間を通じてさいたま市全域の小中学校へ向けた学習資料の貸出を行うことにより、学校単位での教育支援の役割も一手に担っています。

北浦和へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

大原の大ケヤキ 続報

与野駅東口の交差点にあった大ケヤキが伐採され、芸術作品に生まれ変わろうとしているという記事を前号で掲載しました。その続報です。

前号では「完成するのが3月」とお伝えしましたが、予想以上の木の硬さに作業は難航。2011年7月の完成を目指して彫刻家・本田貴侶先生の制作は続くことになりました。

とはいえ前回と比べると雰囲気は大分変わり、側面の女性像は丸みを帯び、さらにその横には赤ちゃんの姿が登場。全体的にもごつごつした感じから温かみのあるものになっています。

「木とは、人がよりそうもの」とおっしゃる本田先生。いかにこのケヤキの木と対峙して制作していくかを語ってくれました。

かつてケヤキの木があった場所は整備される予定だそうです。変わってゆく環境のなかでケヤキの木がどうなっていくか、今後もレポートしていきます！



作品の前でインタビューに答えてくれる本田先生(右)。
公開制作の日時等のお問合せは、まちづくり総務課(829-1445)へ。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 暖かくなるにつれて、花粉症対策で四苦八苦の方の姿が目につくようになりました。かく言う私も花粉症ですが、この微熱のあるような感じで、ああ春だなあ、と実感するようになりました。

次回発行：2011年7月15日

